

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない		でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない	
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]													
(1) 理念の明確化													
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	6	2		事業所独自の理念を掲げている。今年度は、「個々のスキルアップに努め、日々のアセスメントにより利用者のニーズを捉え、適切なケアを提供する」、「リスクマネジメントを行い、事故を防ぐことで信頼関係を築く」を事業所の目標にし、個別に研修計画を作成している。	12	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 日々の介入の中で、利用者のニーズを捉え、迅速にご助言いただいている。 事業所内、ミーティングは大切。スタッフ同志の協力があれば、良い事業所となる。 サービスの質の向上に向けて取り組むべきことを認識し、独自の理念を掲げられている。推進会議でも共有されている。 常に目標を持って取り組んでいる。 	
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	4	4		<ul style="list-style-type: none"> 研修やミーティングの中で学び、理解を深めている。 サービスの特徴をほとんどの職員が説明できる。 	10	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 笑顔のある事業所は、仕事も頼みやすい。安心して頼めるようにしっかりと取り組んでもらいたい。 職員が理解を深める取り組みが継続的に行われている。 サービスの特徴は全職員が良く理解してケアに生かしていただきたい。 	
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	4	4		<ul style="list-style-type: none"> 月1回の事業所ミーティングや日々の申し送りを通し、オペレーターの判断能力向上のためのカンファレンスを行っている。 個別研修計画にそって月1回のヘルパー全体研修、サポートセンター内研修、その他法人内外の研修を受ける機会を確保している。 	10	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> しっかりと研修されており、質の高い職員が多い印象。 研修は大事。今後も続けてほしい。 法人内の研修が充実している。 定期研修や日々の業務でのカンファレンス等を通じ、専門技術及び多様な視点を学ぶ機会があり、質の向上に取り組んでいる。 ヘルパー5事業所とも連携し、判断能力向上について研鑽を積み、育成をはかっていただきたい。 	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない		
事業所コメント				外部コメント									
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]													
(2) 適正な人材の育成													
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	3	5			<ul style="list-style-type: none"> ・業務作成時、一定の職員に偏ることがないよう配慮している。 ・全員がどの利用者にも訪問できるよう、援助の手順書や注意点を随時更新し、わかりやすく表記したり、皆が同じサービスができるよう、教え合って技術向上に繋げている。 ・さらなる能力開発を促すような工夫が必要である。 	4	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の利用者、職員の中でも、同じサービスが提供されている。 ・各分野、ケアマネや看護、医師からのコメントを参考にさせていただきたい。連携を探めていただけるとありがたい。 ・経験値が異なる職員に対しても工夫しながらサービスの平準化に取り組んでいる。 ・能力の平均化に努めている。ある能力に長けた職員が能ある鷹は爪を隠すでなく、他の職員が妬むことなく、事業所のレベルアップに繋げ利用者に還元できると良いと思う。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	5	3			<ul style="list-style-type: none"> ・フェニックスネットにて情報共有できている。また、必要時は電話にて連絡、相談も行っている。 ・連携事業所とは、頻繁に連絡を取り合う所もあれば機会が少ない所もある。 	11	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・フェニックスネットの他、随時連絡いただいている。 ・フェニックスネットへの記載内容について、もう少し必要な時のコメントだけでも良いのでは？ ・フェニックスネットの利用で相互の関わりが見えている。 ・情報共有ツールを有効活用し、共有の機会は確保されている。相互理解をより深めるためには、対面での会議等が効果的と思う。 ・連携事業所の記録を確認し、確認ボタンを押すようにしたいと思う。 ・今後も必要時は電話や対面での相談も大切にしていきたい。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない		
事業所コメント				外部コメント									
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]													
(2) 適正な人材の育成													
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適かつ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	6	2			日々の訪問に加え、急な外出、受診等の出発や帰宅、デイサービス利用日の変更に対応出来るよう、必要に応じて当日でも業務変更やシフト変更して臨機応変に対応している。	11	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> •いつも柔軟に対応いただいている。 •予定変更に関する情報収集や共有が速く、その分臨機応変に対応できている。 •臨機応変な対応に合わせたシフト変更は大変かと思うが、組織で対応されている。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	3	5			推進会議は適時適切に開催しており、頂いた要望、助言をサービスの提供に反映させて頂いている。その報告を、会議において、又は中間報告などで提示していきたい。	11	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> •会議で聞いた情報を生かしてもらい、時間を大切にもらえるありがたい。 •意見交換して改善した点などを次の会議で報告している。 •会議で助言されたことがどのように反映されたか報告されており、勉強になる。 •事例検討が行われ、とても有意義な意見交換がされている。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価							
				実施状況				実施状況							
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない				
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]															
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備															
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	7	1					主にフェニックスネットにて、入力した訪問時の状況を確認することで、共有できている。	13	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 利用者本人家族への報告の他に、ケアマネ宛に詳細な情報を随時記載して下さるので、都度、状態が確認でき助かっている。 フェニックスネットを上手く活用されている。特に、写真での共有は状況、状態が分かりやすい。
(5) 安全管理の徹底															
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	4	3	1				緊急連絡網、車両、自然災害、緊急時の対応マニュアル、災害時BCPが作成されている。 交通安全については研修もあり事故防止への意識も高いが、夜間の防犯対策や、災害時の具体的な動きについては、マニュアルを実践出来るように研修していく必要がある。	6	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 熊やイノシシなど猛獣対策はどのように行われていたのでしょうか？参考にしたいと思います。 職員の安全管理をしっかり考えられている。 各種マニュアルの作成や研修会の実施により、安全確保や緊急時対策が講じられている。マニュアルが有事の際に活かせるよう、実践的な訓練や職員への意識付けが重要。 訓練を通してマニュアル通りの動きができるか、何か問題は無いかを検証していただきたい。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	5	3					<ul style="list-style-type: none"> 法人内で個人情報取扱規程があり、職員間で共有されている。 個人情報を持ち出さない事、タブレットはパスワード管理する等、基本的なことは行えている。 	12	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 十分配慮されている。 個人情報保護について具体的な対策が講じられている。個人情報の取り扱いに対するヒヤリハットを日頃から職員で共有するなど、常に意識することが重要。 全員が「できている」になることが望ましい。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部評価				
				実施状況					実施状況				
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	外部コメント
II 過程評価(Process)													
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供													
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成													
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	5	3			サービス開始してからも、日々の訪問でよく観察したりお話を伺い、望まれる生活リズムに沿った援助になっているかアセスメントを行っている。	12	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 日々の援助の中で得た情報を適宜連絡くださるので、ケアマネ業務のアセスメントの材料にさせていただきます。 ・24時間関わって頂ける事で安心した生活を送る事が出来ている。 ・利用者の生活をよく把握し、その生活に沿った支援が行われている。 ・ヘルパーが関わった情報で生活リズムを把握することが多い。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	7	1			<ul style="list-style-type: none"> ・介護・看護の毎月のアセスメントとモニタリングにて状況や課題を共有している。 ・つき合わせがやや不十分である。 	10	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・看護、介護が連携している様子が伺えます。 ・本人に対する観察コメントはしっかり出来ている。細かく書いてありこまでする必要があるか？ ・看護のアセスメントが介護支援の中にも反映されている。 ・情報のつき合わせがやや不十分とのことなので、現在の課題を介護・看護の両方で直接話し合う機会を作ってみてもよいのでは。 ・共有した事をどのように実践していくのかの検討が必要。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	5	3			<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のできるどころ、できそうなところに着目して計画作成している。 ・心身機能の維持に重点を置いている場合が多く、回復までは行けていない事が多い。 	10	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスを利用する様になり日常生活が安定し、利用者の表情が以前より穏やかで明るくなったように思う。心の方は回復に繋がっている。 ・心身機能の維持回復を目指したプラン作成に努めている。 ・本人の意向や能力に合わせた計画立案を心掛けている。 ・今後も病期に応じた自立支援の視点を大切にしていきたい。維持をする事が回復と同等であるケースもある。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部評価				
				実施状況					実施状況				
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない		でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない	外部コメント
II 過程評価(Process)													
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供													
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成													
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	2	5	1		日々の訪問において、身体の状態や生活状況の変化とその後のリスクを想定し、必要なところに連絡、相談することで重度化防止に繋がるため、そのような計画が作成されている。	3	10	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 今後も関連サービスと情報を共有して、早期に対応できるようにしてください。 多職種で利用者の変化を共有・想定しながら、在宅生活の継続を意識したプラン作成に努めている。 日々の変化を見逃さない事が重要。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し													
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	7	1			<ul style="list-style-type: none"> 本人、家族の希望や、外出、デイサービスやショートステイの変更には出来る限り対応している。 体調や状態変化がある時は、ヘルパーの判断で随時訪問している。 	11	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> その人の状態や家族の状況に合わせてヘルパーさんの方から訪問追加の提案や、訪問時間変更の相談をいただいている。 体調不良時は訪問を追加したり、ご家族にそれを提案されたりととても頼りになる。 柔軟なサービス提供ができています。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	5	2	1		<ul style="list-style-type: none"> 月末のモニタリングにより、状況変化の把握や計画への反映を行っている。 計画にすぐ反映することが出来ていない場合もある。 	6	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 継続的なモニタリングで状況変化を把握し、プランに反映するよう努めている。 モニタリング時に、変化の原因をアセスメントし記録することによって計画に反映させやすくなるのではないかと。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部評価				外部コメント
				実施状況					実施状況				
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき が多 くない	全 く でき ない		でき ている	ほ ぼ でき ている	でき が多 くない	全 く でき ない	
II 過程評価(Process)													
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供													
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供													
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	6	2			医療面で看護師、日常生活援助は介護士と役割分担ができています。	11	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 介護士の記録を拝見して日常生活の援助方法や関わりなど参考にして訪問している。 介護と看護の相互の専門性を生かした役割分担のもと、連携しながら一体的なサービス提供が行われている。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	6	2			<ul style="list-style-type: none"> 日々の看護師の定期訪問、又は看護のアセスメント訪問により、介護士への指導、助言をフェニックスネットに入力することで確認できている。 判断に迷った時はこちらからも助言を求めている。 	12	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 訪看さん介入のケースについては、変化時にはすぐに看護へ相談報告がされている。 フェニックスネットでの共有は有効。急を要する時は電話で相談することもある。電話が繋がりがやすく助かっている。 フェニックスネットで情報収集、共有、アドバイスができています。
10													
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	4	4			<ul style="list-style-type: none"> 契約時に重要事項説明書にて口頭で説明させて頂いている。 ご利用者、ご家族にあまり伝わっていない事も多く、分かりやすく説明するための工夫が必要と感じる。 	6	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 契約時にどんなに分かりやすく説明しても、頭に入らないことは仕方ない。利用者、家族が疑問に思った時に各々が説明できればよいと思う。 利用者の希望だけではなく、専門職としてサービス趣旨に沿った支援を提案・調整する必要があり、この点をご理解いただくことが難しいサービスだと思う。 分かりやすい説明に努めていただきたいと思う。

タイトル 番号	項目 番号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部評価				
			実施状況					実施状況				
			でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て 多 い ない	全 く でき て い ない		でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て 多 い ない	全 く でき て い ない	外部コメント
II 過程評価(Process)												
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供												
(4) 利用者等との情報及び意識の共有												
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	5	3		計画書について、利用者、家族に十分に説明し、ご理解を頂いた上でサービスに入らせて頂いている。	11	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 十分理解されていると思う。 計画書の目標及び内容について利用者等に説明し、理解を得ています。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	7	1		サービス開始時に緊急連絡先を確認しておき、状態変化時は速やかに報告、相談を行っている。	10	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> いつも速やかに報告、連絡をいただいている。 家族への報連相も適切にできている。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント												
(1) 共同ケアマネジメントの実践												
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	5	3		<ul style="list-style-type: none"> 状況や変化について、フェニックスネットや電話にて常に情報共有できている。 サービス提供日時も相談して決めている。 フェニックスネットでの情報共有は相手が確認しているか不明な場合もある。 	9	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 極力ヘルパーさんからの問い合わせ等にはすぐに返信するよう心がけているが、見逃してしまっていることもあるので、入力いただいた情報はこまめに確認していこうと思う。 共同マネジメントが行われ、共通認識をもって支援が行われている。情報共有の方法については、状況に応じて柔軟に行えればよいと思う。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	4	4		ミーティングで意見をまとめ、必要時はモニタリングや電話連絡にてケアマネに提案を行っている。	8	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて事業所に寄ってくださるので、その場でプランの変更や追加などの相談ができていることもある。 必要に応じて連絡をいただいております。 日々の訪問での関わりの中でしか気づけないことがあるので、引き続き、ケアマネジャーへ積極的な提案を行ってください。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない		
事業所コメント				外部コメント									
II 過程評価(Process)													
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント													
(1) 共同ケアマネジメントの実践													
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	7	1			サービス担当者会議にて日々の訪問時の状況はお伝えしているが、目標の達成状況については情報提供できていないと思う。	7	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・フェニックスネットの確認や必要時の電話連絡にて、情報提供できている。 ・日頃のケアを通し利用者のきめ細かな生活状況等を把握しやすい立場であると思うため、この情報を積極的に多職種と共有し、共同マネジメントを行ってください。 ・計画に沿った情報提供を心掛けるとよいと思う。 ・サービス担当者を有効に使っていくことだと思う。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献													
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについて、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	1	1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・必要時にはケアマネに提案している。 ・あまりインフォーマルサービスを多職種で検討する機会はない。 	1	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議でも検討するようにしてはどうか？ ・利用者の在宅生活を包括的に支えるため、まずは地域の社会資源について多職種で話し合える機会等があればよいと思う。 ・特に一人暮らしの場合は、ご家族、隣近所、町内会、知人等の関わりがあると、在宅の継続に関する意思決定がしやすいように思う。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	2	2			退院時カンファレンスには可能な限り参加し、情報を得ている。	4	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・退院や入所の場面で情報のやり取りは必要。 ・会議に参加され、退院後の検討や情報共有ができています。 ・利用者の状況変化に応じて切れ目なくサービスを提供するために、関係者間の連携は不可欠。退院時カンファレンス等に参加できない場合でも、相互に連携しながら、必要な支援につなげてください。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない		
事業所コメント				外部コメント									
II 過程評価(Process)													
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント													
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献													
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている (※任意評価項目)	4				サービス担当者会議の時に検討し、共有している。	4	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に情報提供されている。 引き続き、サービス担当者会議等を活用し、多職種と連携して包括的な支援について検討してください。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画													
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案													
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	5	3			会議の記録は掲示している。	11	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> こちら側の会議録も出来る限り提示している。 資料がとても見やすい。 推進会議の会議録は適切なタイミングで委員に配布されている。 掲示した記録をどの程度把握し理解しているのかが分かるとよいと思います。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	1	5	2		<ul style="list-style-type: none"> 看板にセンターの様子を貼り、地域に向けて発信している。 回覧板でこぶし園本体の広報誌は回してもらった。今後は定期随時サービス独自の広報誌も発達していきたい。 	5	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> とてもよいサービスなのに地域にあまり知られていない。もっと発信し広めてもらいたい。 関わりがないと定期随時サービスを理解してもらうのは難しい。 地域の中に定期随時サービスの事業所があることは、地域の方の安心にもつながると思うので、地域と関わる機会を増やしなが、より積極的な発信が行えるとよい。 定期随時は分かりにくい所もあるので、説明する機会があると良いと思う。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況			事業所コメント	実施状況			外部コメント		
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない こと が多い		全 く で き て い ない	できて いる	ほぼ できて いる		できて いない こと が多い	全 く で き て い ない
II 過程評価(Process)													
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画													
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画													
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	2	4	2	行政の計画や方針について研修で学び、理解に努めているが、十分に理解できているとは言えない。	2	11	0	0	・定期随時サービスは、利用者の在宅生活の希望を可能とする、地域包括ケアシステムの中核的なサービス。十分な理解でなくとも、地域包括ケアシステムの構築に向けた方針を関係者が共有し、日頃から意識していただけるよう、行政としても考えていく必要があると感じた。	
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	4	4		サービスの提供は、地域へ広く展開している。実施エリア外であっても、可能な範囲で受けている。	8	5	0	0	・長岡市南部地域や東部山間地域でニーズがあった場合、対応いただけるとありがたい。 ・ケアマネや地域への情報発進が必要、今後も今まで以上に展開してほしい。 ・積極的に受け入れられている。 ・地域へ広く展開している。	
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている <u>(※任意評価項目)</u>			2	2	できているとは言えない。推進会議などを通じ、まちづくりへの問題を関係者間で共有し、対応策を話し合うことが出来ると良いと思う。	0	7	3	0	・ケアマネの高齢化や介護現場の人員不足についても何か良い知恵を頂けたら提案して下さい。 ・推進会議での事例検討の内容により、地域の課題等について意見交換がされることもあると思う。今後も日頃の業務を通して見えてきた地域課題等について積極的に共有、提起していただき、地域や関係者間でまずは話し合うことが大事だと思う。 ・推進会議の内容の工夫もしながら、繋げられるとよいと思う。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部評価				外部コメント
				実施状況					実施状況				
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき が多 くない	全 く でき ない		でき ている	ほ ぼ でき ている	でき が多 くない	全 く でき ない	
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	6	2			計画目標に沿った援助を行い、モニタリングすることで達成状況の確認を行っている。見直しが必要な場合は検討を行った。	10	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> •これからも専門的なサービス提供や多職種連携により、「在宅生活の継続」及び「心身の機能の維持回復」を目指した支援をお願いします。 •毎月の評価は大変だと思いますが頑張ってください。どのような介入でどのような変化があったかなど、また会議で教えてほしい。 •月のモニタリングで確認させていただき、参考になっている。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	7	1			「ヘルパーに毎日来てもらえるから暮らしていけるんだ」と利用者から言われることもある。また、テレビ電話等にて随時に訪問できることを説明することで、本人と離れて暮らすご家族の安心にも繋がり、お一人でも在宅生活を続けられる方が多い。	12	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> •24HHを利用することで、独居や在宅生活が可能になった方が、現在も過去にも大勢いる。家族も安心されている。特に独居の方の生活にはヘルパーさんが欠かせない。 •本人も家族も安心していると思う。 •在宅生活を続ける利用者及び家族の支えとなり、安心感を与えている。これからも、住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるよう支援してください。期待しています。 •素晴らしいサービスなので、長岡市全域で展開できるようになる事を願っている。やりがいのある仕事だと思う。 •テレビ電話の活用で安心感を得られているケースが多いと思う。ご家族との連絡方法も、メール中心の方がいたり、多様化していると感じる。

※外部評価 実施状況の数字は回答があった数字を入力しました。